

“中島仁 trio”

2nd Album 「Mirror of the Mind」 Release Live

中島仁 contrabass
望月慎一郎 piano
橋本学 drums

2024 07月20日 (土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



望月慎一郎

静岡県出身。幼少から音楽に触れ、6歳で曲を書きはじめた。13歳の頃には海外でも自作曲を披露し、既に作曲は日常のものとなっていくなかでジャズに出会い、以降は独学で研究を重ねている。尊敬する宇宙飛行士らの影響を受けてエンジニアへの憧れもあったため音楽大学ではなく工学部へ進学し周囲を驚愕させたが、在籍時は放射線管理区域で実験を繰り返す毎日を送りながらも音楽創作活動を継続しヤマハ講師グレードも取得、音楽研究を片時も忘れなかった。欧州ジャズに近い演奏スタイルを取り入れ、独自の的方法論で作品を作り出す。半導体・電子部品の技術開発も行いながら、精力的に演奏活動と創作活動を続けており、次々と作品を発表している。2017年、ピアノトリオによる大作アルバム「Visionary」(SONG X 047)をリリース。2018年、橋爪亮督(sax)をフロントにむかえ「Another Vision」(SONG X 054)をリリース。2021年、Miroslav Vitous(b), 福盛進也(ds)をむかえ「Trio2019」(Columbia / Unknown Silence)をリリース。

中島仁

1963年、信州安曇野生まれ。15歳からエレクトリックベースを始め、法大ジャズ研時代ではECM系サウンドに傾倒。2010年にはコントラバスを持ち替えて地元での音楽活動を再開しヨーロッパサウンドに影響を受けた自己リーダーのピアノトリオを主軸に活動を続ける。2018年7月、ヴィブラフォン奏者赤松敏弘氏プロデュースのもと望月慎一郎氏(pf)、橋本学氏(ds)とのトリオにてファースト・リーダー・アルバム「Pioggia」(ピオッジャ)をレコーディング、12月5日にリリース。2019年、JAPRS(日本音楽スタジオ協会)が主催する『日本プロ音楽録音賞』の「クラシック・ジャズ・フュージョン部門」において「Pioggia」が優秀賞を受賞。2024年4月、同メンバーに加え世界的テナー・サクソ奏者のオーベ・インゲマルソン氏をゲストに迎えたセカンド・リーダー・アルバム「Mirror of the Mind」をリリース。「静謐な中に強烈な説得力を持っていて、聴き手の心に染み入る特別な独創性がある」大村幸則(Jaz.in vol.008 アルバムレビューより)他、各誌レビューにて絶賛を得る。

橋本学

1976年年生まれ。大学入学後モダンジャズ研究会にてジャズ・フュージョン活動を開始、卒業後プロ活動へ。2001年横浜ジャズプロムナード・コンペティションで参加バンドがグランプリ受賞。2005年よりTrio Zero(伊藤志宏 piano、織原良次 fretless-bass)を主宰、作・編曲を手がける。2010年台湾・台中 Jazz Festivalにて公演。2014年11月スイスにて4本の公演に参加。2012年2月ミュージカル「ラブ・イズ・ミラクル」へ楽曲提供。2016年長野県富士見町へ移住、中部甲信地方発信の活動を開始。以後、中島仁 trio(長野)・名雪祥代 quartet(東北)・溝口恵美子 group(関西)といった地域発信のユニットに参加、それぞれレコーディングもする。ジャズのみならずポップス・ラテン・ブラジル・アラブ音楽・古楽など、ドラム以外のパーカッションも多用して節操なく活動。2019年再度台湾公演。2020年 Trio Zero 1st album 「Energetic Zero」リリース。2023年ピアニスト 福井真菜とのデュオ Manna&Mana 「Metamorphose」をリリース。